

## 大和認定こども園で入園式

4月7日、大和認定こども園の遊戯室で、入園式が行われました。

大和認定こども園は、幼稚園と保育所の2つの機能を併せ持つこども園で、大和町にあった5保育所を統合し、新しくスタートしました。

入園式で森園園長が「早く友達をたくさん作ってください」と呼びかけると、園児たちは「はーい」と元気な声で応えていました。式の最後に園児全員で「チューリップ」を歌いました。

多様な保育ニーズに対応するため、延長保育事業・預かり保育事業・一時保育事業および地域子育て支援センター事業の実施により、在宅保育の支援も含めた保育サービスの充実を図ります。



▲のびのび、すくすく、元気よく。  
みんなでお遊戯楽しいな



## 61年の歴史に幕、鷺浦中学校で閉校式

3月23日、鷺浦中学校で閉校式が行われ、61年にわたる学校の歴史に幕を閉じました。

閉校式は生徒や地域住民、関係者約200人が出席して行われ、小川潔校長が「地域の人には、温かく見守ってもらいました。生徒たちは、鷺浦中学校で学んだ精神を絶やさずに頑張ってもらいたいです」と閉校のあいさつをしました。

続いて生徒を代表して、村上葉さんが「鷺浦中学校で学んだことを誇りに思い、次の世代に伝えていきます」と力強く誓いました。その後、生徒2人が校旗を校長先生に手渡しました。

近年の少子化により生徒数は減少の一途をたどり、3月末で閉校となりました。新学期から在校生は、第二中学校に通っています。

鷺浦中学校の校舎は改修後、市立鷺浦小学校・幼稚園として利用されます。



▲それぞれの思い出を胸に新たな道へ

## 国の天然記念物 沼田西のエヒメアヤメを一般公開

国の天然記念物に指定されている沼田西のエヒメアヤメ自生南限地帯が4月12日から27日まで一般公開され、休日には200人を超える人たちが訪れました。

エヒメアヤメは、愛媛県で最初に発見されたため、その地名にちなんで名づけられ、岡山県から宮崎県までの西日本に分布しています。毎年、4月には15cmほどの紫色の美しい花を咲かせます。

広さ1ヘクタールの自生地には、約1,000株のエヒメアヤメが生育しています。

地元の沼田西町エヒメアヤメ保存会と市が協力し、年2回、雑草の下刈りなどで日当たりのよい生育に適した環境整備をしています。

郷土の宝エヒメアヤメが可憐な花を咲かせました

